

賛成 公明党

令和3年度の一般会計当初予算では、新型コロナウイルス感染症関連の対策費として、およそ14億円が計上され、過去最大規模となりました。

歳入面では、これまで堅調に推移してきた市税が感染拡大の影響により減収の見込みとなり、不足を補うための基金からの繰入額は過去10年間で最大となりました。

歳出面においては、急増する子育て世帯のニーズに応えるための各種事業費が盛り込まれるほか、激甚化する自然災害に備えるための防災対策に関する、市の現況に即した事業拡充を実施。また、地球温暖化対策についても、令和3年度は新規事業を開始するなど、厳しい財政運営の中でも、市民の生命と環境を守るための積極的な取り組みを高く評価します。

なお、①コロナ禍で経営状態が逼迫した市内事業者への支援策を今後も適宜講じること。②学校内で、新型コロナウイルス感染症の拡大に起因するいじめ防止対策に万全を期すこと。以上2点を党派として強く要望し、賛成とします。

賛成 市民クラブ

ホップ、ステップ、ジャンプと、今年度予算はさらに躍進の内容が本来は必要でした。しかし実際は、市税収入の減少をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響が各所に現れました。その結果、国の要求水準の行政サービス拡充には、地方交付税措置と臨時財政対策債の発行が必要となり、次世代への負担が増えます。ブランディング強化と拡充を目的とする仕掛けづくり、交流人口増加策のツーリズム推進は、アクセルとブレーキを交互に調整する攻めの手法

賛成 新生令和

令和3年度予算総額は、711億7千万円で、前年度予算額と比較して13億3500万円、1.9%の増額でした。歳入では、新型コロナウイルス感染症の影響により、自主財源の市民税や固定資産税などの減額を見込み、前年度に比べ12億6683万3千円減となっています。特に評価する施策は

①子育て世代包括支援センターおよび児童センターからなる子育て支援施設と併せて、令和4年度開館を目指す、南流山地域図書館の整備を進めていること。②江戸川台駅

東口駅前広場の改修や旧ジェトロ用地の活用、周辺公共施設の再配置など江戸川台駅東口周辺の整備を行うための調査費を計上したこと。③新たに太陽光発電設備の設置を拡大するため、無償設置サービスを提供する市内事業者に対し、補助事業を開始すること。

賛成 会派に所属しない議員 反対 大野 富生

以下2点の理由で反対します。①以前から指摘している事業の、業務委託先との契約内容について問題がある点。②中学校移転用地の取得および取得後の転用。指定ごみ袋導入。流山版DMOへの補助金などについて、市民および議会に向けての説明が不十分な点です。①の問題は、執行部は十分に認識していません。②については、結論ありきの進め方に対して市民からも疑問の声が上がっており、指摘し正さなければなりません。

市政に関する一般質問

令和3年第1回定例会の一般質問には、16人の議員が登壇し、市政に関するさまざまな議論が展開されました。

各議員が行った質問のうち、1問についての質問・答弁を通告順に掲載しています。

なお、「問」部分については、各議員の草稿によるものです。



流山版エコツーリズム 実施の可能性
市民クラブ 森田 洋一

問 自然の中でさまざまな体験をすることにより、自然保護や生物多様性の重要性を再認識するエコツーリズムが近年盛んである。本市に残されている自然を満喫する流山版エコツーリズムを実施し、市外からの集客活動に結びつけてみてはどうか。

答 市長 利根運河地域における観光資源を活用したツーリズム施策は、エコツーリズムの考えと合致しています。当該地域には、歴史的遺産である利根運河や四季折々の自然溢れる理窓記念自然公園などがあり、エコツーリズムを推進するポテンシャルを持っていきます。また、流山本町・利根運河ツーリズム推進事業補助金を活用し、平成



運河水辺公園

流山市の新型コロナウイルスワクチン接種について
流政会 笠原 久恵



問 集団接種と個別接種についてどう考えているか。ワクチン接種の予約でLINEのシステムを導入してはどうか。予約を守るよう文書の同封や広報が必要と思うがどうか。ショートステイやデイサービス利用者は施設で接種できないのか。

答 健康福祉部長 医師会の協力のもと、医療機関での個別接種を基本に実施していく見込みです。必要に応じて集団接種の実施を検討します。特に医療機関が少ない東部地域は集団接種が必要

流山市立小中学校の校則などについて
流政会 野田 宏規



問 令和2年第4回定例会の一般質問で、校則を子どもたちの声を反映しながら変えていく方向に準備を進めているとの答弁がありました。進捗はどうか。また、変化し続ける仕組みづくりが重要と考えますが、いかがですか。

答 教育長 今年度市内全小中学校において、児童生徒や保護者の声を反映させた校則などの見直しを行い、3月上旬には全ての学校で見直しが行われます。見直しを行う方法として、児童生徒か